

地域と共に 20 年。更なるジジガを目指して

地域福祉フォーラム in 下呂 ～福祉の力・地域の力～

下呂市をもっと好きになる
下呂市の魅力が今ココに！



2024 10/6



会場 星雲会館 岐阜県下呂市萩原町萩原 1166-8

主催 | 社会福祉法人 下呂市社会福祉協議会

共催 | 下呂市連合自治会 後援 | 下呂市 / 下呂市民生委員児童委員協議会

地域福祉フォーラム in 下呂

～福祉の力・地域の力～

趣旨

今年の下呂市と共に、下呂市社協も合併 20 周年を迎えます。下呂市社協はこの 20 年間、多くの関係者や市民の皆様と様々な社会福祉活動に関わってきました。また近年では、多様化する生活課題の解決を目指し、新たに多くの活動を創出してきました。少子高齢化、核家族化などが急速にすすむ中、制度やサービスだけではなく、こうした「地域福祉活動」は下呂市にとって欠かすことのできない大きな力となっています。

初の開催となる今回のフォーラムでは、これらの地域福祉活動を事例発表いただき、市民による地域福祉活動がさらに広がる「安心して暮らせる地域づくり」を皆さんと共に目指します。

テーマ 【地域の力でやってみた！～実践事例から学ぶ地域の可能性～】

主催 社会福祉法人 下呂市社会福祉協議会

共催 下呂市連合自治会 **後援** 下呂市/下呂市民生委員児童委員協議会

開催日 2024 年 10 月 6 日 (日)

時間 13:30 ~ 16:30 ※受付 12:30 から

会場 星雲会館 岐阜県下呂市萩原町萩原 1166-8

参加対象 下呂市の地域住民

参加費 無料

参加定員 250 名 (予定)

参加申込 以下①・②の方法でお申し込みください

①**電話**：最寄りの各支所へお問合せください ※平日 9:00~17:00

※お名前、住所、連絡先、各時間帯(第1部・第2部・第3部)の希望分科会

※金山・下呂方面、小坂方面からのバスが出ますのでご希望の方はお伝えください

小坂支所	萩原支所	下呂支所	金山支所	馬瀬支所
62-0038	52-3773	25-2082	33-2495	090-3104-2225

②**申込フォーム**：右のフォームより必要事項を入力し送信してください→

●受付は 9 月 20 日(金)までになります。



地域と共に 20 年。更なるシン・力を目指して

プログラム (予定)

12:30 ~

受付

13:30 ~ 14:55

85分

分科会

テーマ

【地域の力でやってみた！～実践事例から学ぶ地域の可能性～】

分科会① 子育て支援活動

分科会② ボランティア活動

分科会③ 地域交流多様な集いの場

分科会④ 自治会地域福祉活動

<13:30~13:55>

25分

第1部

分科会①～④のうち
1つ選択してご参加ください

分科会① 夏休み子ども食堂inHagiwara「下呂市食育サポーター」

分科会② 買い物支援「御厩野外出支援ボランティア かけはし」

分科会③ 近隣の集い「和」「渡寿会」

分科会④ 見守り活動と連携「萩原中区福祉委員会」

<14:00~14:25>

25分

第2部

分科会①～④のうち
1つ選択してご参加ください

分科会① 不登校児童等の居場所「中原みらいの学校プロジェクト」

分科会② 支えあいボランティア活動「下呂市社協登録ボランティア」

分科会③ 自治会単位の集い「小坂：湯屋&大洞」「下呂：森」

分科会④ わがフェス開催までの歩み「和川区福祉委員会」

<14:30~14:55>

25分

第3部

分科会①～④のうち
1つ選択してご参加ください

分科会① 登下校の見守り等「チーム小坂のおじさんおばさん活動」

分科会② 歴史ある配食ボランティアと新たな取組み「山之口いきいき会」

分科会③ 小学校区単位の集い「馬瀬ほのぼの館」

分科会④ 知る区ロードウォーキング・災害備品整備他「上村区」

<15:00~15:15>

15分

休憩

15:15 ~ 15:55

40分

開会・全体会「各分科会まとめ～地域と社協 ともに歩んだ20年～」

15:55 ~ 16:25

30分

基調講演

『下呂市の魅力が今ココに！』

あふれだす住民主体の地域の力、共に歩む社協の姿』

講師：中部学院大学 人間福祉学部 人間福祉学科 教授 佐甲 学 氏
元 社会福祉法人 全国社会福祉協議会 地域福祉部 部長

16:25

閉会

分科会

13:30 ~ 14:55 (85分)

テーマ【地域の力でやってみた！～実践事例から学ぶ地域の可能性】

分科会① 子育て支援活動

- 夏休み子ども食堂 in Hagiwara 「下呂市食育サポーター」
- 不登校児童等の居場所「中原みらいの学校プロジェクト」
- 登下校の見守り等「チーム小坂のおじさんおばさん活動」

分科会② ボランティア活動

- 買い物支援「御厩野外出支援ボランティアかけはし」
- 支えあいボランティア活動「下呂市社協登録ボランティア」
- 歴史ある配食ボランティアと新たな取組み「山之口 いきいき会」

分科会③ 地域交流多様な集いの場

- 近隣の集い「和」「渡 寿会」
- 自治会単位の集い「小坂：湯屋&大洞」「下呂：森」
- 小学校区単位の集い「馬瀬ほのぼの館」

分科会④ 自治会地域福祉活動

- 見守り活動と連携「萩原中区福祉委員会」
- わがフェス開催までの歩み「和川区福祉委員会」
- 知る区ロードウォーキング・災害備品整備 他「上村区」

第1部

13:30 ~ 13:55

分科会① 夏休み子ども食堂 in Hagiwara

「だから、夏休み子ども食堂

～大切にしてほしい 家族との時間～」

皆さん、子ども食堂をご存じですか？

全国各地で話題の子ども食堂。

なぜ下呂市では夏休みの開催なの!?

その真相は!?! 地域と社協で取組んだ子供食堂の内容や協力者の方々の活躍を、子どもたちや保護者の声と共に紹介します。

[事例発表団体] 下呂市食育サポーター



ここを聞いてほしい!

夏休みに限定した理由。それは…!! 保護者の方からのアンケート結果が答えです。

目的や理由があるからこそその夏休み限定の開催。そして、共感してくださる方々がいるからこそ開催できる子ども食堂。

下呂市に必要な子ども食堂をぜひ感じてください。

分科会② 買い物支援

「熱き有志が挑んだ地域の移動問題

～ボランティア活動の可能性～」

全国で問題となっている高齢者の免許返納後の

移動問題。運転ができなくなったら？

誰もが抱えるであろう移動手段の不安。

その問題に地域が立ちあがりました。

みなさんの熱い想いをお届けします!

[事例発表団体] 御厩野外出支援ボランティアかけはし



ここを聞いてほしい!

区長を経験した方々の「なんとかしたい!」「自分たちにできることは何かないか?」という想いを具現化したボランティア活動。社協の機能や事業を有効活用して、自分たちならではの活動を生んだ苦悩のプロセスをご覧ください。

第1部

13:30～13:55

分科会③ 近隣の集い

「近所で気軽に健幸づくり

～仲間がいるからできる。継続は力なり～」

できること探し！

きっかけはコロナ禍での3密回避の生活。

その中で取組み始めた新たな集う方法とは!?

大事だとはわかっている、中々続かない健康づくりを、今も絶賛継続中！その秘訣は？

[事例発表団体] 「和」「渡 寿会」



ここを聞いてほしい！

健康作りのためにと始めたラジオ体操でしたが、やり始めると効果はそれだけではではありませんでした。いつでもそこにいけば誰かがいる。みんなと朝から笑うことができる。あれ？今日はあの人きてないな…気にかけてくれることもできる。誰でも気軽に無理なくできる活動から生まれるたくさんの効果をぜひ感じてください。

分科会④ 見守り活動と連携

「つながりが希薄化!?

地域だからこそ可能な見守りと情報共有の仕組み」

コロナ禍の影響もあり、地域の繋がりが希薄化!?

そんなの関係ない！地域の人地域で見守る！

そして、福祉委員と民生委員児童委員が情報を共有するために活用しているアイテムとは!?!本日初披露！



見守り
ふれあいカード

[事例発表団体] 萩原中区福祉委員会

ここを聞いてほしい！

自分達の地域で求められている福祉委員の役割とは？これまでの活動を変えていくのはとてもパワーがいることです。あたりさわりのない近所づきあいが求められる時代となってきたと言われる中、萩原中区の福祉委員会では「地域の人地域で」という想いでこれまでの活動を見直し、福祉委員の役割でもある見守りに力を入れられてきました。活動の土台をつくり、実行し、継続する。活動をつないできた3人の委員長さんの想いをぜひ、聞いてください！

第2部

14:00 ~ 14:25

分科会① 不登校児童等の居場所

「楽しいことがいっぱいの居場所！」

～小さな1歩を確かな自信に～」

みんなが気軽に過ごせる居場所。
安心して過ごせる環境。
そんな居場所が実現しました。
内容や運営の方法をご紹介します。
こんな居場所が地域にあったらいいな。



[事例発表団体] 中原みらいの学校プロジェクト

ここを聞いてほしい！

職業や人との関わり。これまでの人生経験を活かして、同じ想いを持つ仲間が集まりました。子どもも大人も楽しむことができる環境を創ることで社会参加を応援。いろいろな取り組みが子どもたちの学びに！

分科会② 支えあいボランティア活動

「下呂市に広がる支え愛・助け愛

～地域を支える大きな力～」

個々の力は大きな力！
買い物、通院、大掃除…地域住民からの多様な困り事やニーズに活動いただいているボランティアさんの想いをお届けします。
自分にできることが見つかるかも！



[事例発表者] 下呂市社協登録ボランティア

ここを聞いてほしい！

生活や世帯環境の変化…時代と共に困りごとが多様化して、なかには家族や近所では解決できないことも…。
こんな活動までしてくれるの!?!とびっくりするようなボランティアさんの活動が生まれてきました！
ボランティア活動が秘めている可能性に注目です！

第2部

14:00～14:25

分科会③ 自治会単位の集い

「 身近な範囲で無理なく交流

～集うなら地域でしょっ！想いを形に～ 」

できるといいな。やりたいな。

そんな想いを実現するまでの歩みをご紹介します。
“地域の中で地域のために”、一歩を踏み出したそれぞれの活動者の想いを聞いてください。



[事例発表団体] 小坂：湯屋&大洞 下呂：森

ここを聞いてほしい！

「誰かがやってくれる活動なら参加するけど自分たちでやるのは…」誰しもが抱く想い。
身近な地域で継続的に集う秘訣は、担い手が無理なく実施できることです。
2団体の事例を聞きながらやってみようかな…をできそうだな！に変えてみませんか。

分科会④ わがフェス開催までの歩み

「 みんなが気にかけて合う地域づくり

～福祉への関心を広める取組み～ 」

「わがわの」ことを「わがごと」に！
地域で福祉に触れられる機会があったらいいな…。
必要になる前に福祉のことを知っておきたいな…。
そんな地域の福祉活動のヒントになるかも！
和川区福祉委員会流の地域づくりをご紹介します。



[事例発表団体] 和川区福祉委員会

ここを聞いてほしい！

計画した1年目は参加者0…。じゃあ辞めようか…
ではなく！「ふくし」ってみんなに知ってほしいことだから、どうしたらみんなが来なくなるイベントになるかな？ あきらめずに挑戦した地域の底力！
福祉に触れるきっかけづくりに取り組んだ福祉委員さんの工夫・アイデア・遊び心に注目です。

第3部

14:30～14:55

分科会① 登下校の見守り等

「子どもは地域の宝

～活動者がつながって気づけた仲間の力～^{パワー}」

子どもは地域の宝！

同じ想いをを持った人たちが一つとなって、

それぞれができる活動をしています。

仲間が集まり組織化することでさらにパワーアップ！地域で子どもたちを育てます。



[事例発表団体] チーム小坂のおじさんおばさん活動

ここを聞いてほしい！

地域と共に育てられた子どもたちは地域を好きになります。「一人一人ができること。子どもたちのためにやりたいこと。」組織を作って仕組みを作ったことで、仲間が増え1人の取組みがみんなの取組みに。

見えなかったけど、仕組みを作るとこんな素敵な活動があったんだ！

団体や組織化を敬遠しがちな現代社会…改めて仲間や組織化にする重要性を感じてみませんか。

分科会② 歴史ある配食ボランティアと新たな取組み

「あたりまえやさ。地域のことやに。

～想いは変わらない。だからこそその活動～」

コロナ禍でも手法を変えて継続してきた見守り活動。

集いの場のサポートや協力。

何でここまでできるの？

その原動力は活動者の想いがありました。

地域の声と共にお届けします。



[事例発表団体] 山之口 いきいき会

ここを聞いてほしい！

私たちの活動は食事を作って配る事じゃない！それは1つの手段。どんな時、どんな状況でも大切な地域のつながりを守っていくために活動の手法を変え、地域の笑顔を守り続けるいきいき会。変わらないのは地域を大切に思う思い。

山之口地域のあたたかさに触れながら、自分たちの活動や新たに取り組みたい活動を

「なんのために。誰のために。」ある活動なのか。改めて考えてみませんか。

第3部

14:30 ~ 14:55

分科会③ 小学校区単位の集い

「会える場所。いつもの場所で。いつもの笑顔。
～地域力が集結。守りたい地域のつながり～」

子育て・保育ステーションの一室？

コロナ禍でのスタート？

週1回の開催!?

運営は？

地域の拠点として定着したほのぼの館の魅力を全て
お伝えいたします！そうだ、ほのぼの館へ行こう♪

[事例発表団体] 馬瀬ほのぼの館



ここを聞いてほしい！

馬瀬地域のためにこんな活動を始めたい！社協の投げかけに賛同してくださった地域の皆さん。その皆さんが主役となった取り組みだからこそ、地域役員・地域住民・NPO法人・企業・行政など、協力者も拡充し、今では馬瀬地域集いの拠点として定着しています。交流の場だからこそ活動頻度は週1回の1日型。ほのぼのと1日すごせる集いの場を支えるほのぼの会。地域の力を実感してみましょう。

分科会④ 知る区ロードウォーキング・災害備品整備 他

「ピンチはチャンス!?コロナ禍でスタートした活動！
～できないじゃない！できることはきっとある！～」

地域の魅力を再発見！

防災の知識が身につく、健康づくりにもなり、

地域の人とも知り合える。

一石二鳥以上の新たな取り組みをご紹介します。

その他の活動情報も。

ぜひ、あなたの地区でも！

[事例発表団体] 上村区



ここを聞いてほしい！

構想期間はなんと20年!! コロナ禍の状況をチャンスと捉え、新たに始められた取り組みです。色々な団体が協力し、1回目より2回目。2回目より3回目と、内容がさらに充実しパワーアップ!! 開催することが目的ではない、様々な目的や効果、想いがぎゅっと凝縮された、一押しの取り組みにご注目ください。

開会・全体会

15:15 ～ 15:55 (40分)

主催者あいさつ

下呂市長あいさつ

「各分科会まとめ ～地域と社協 ともに歩んだ20年～」

- 各分科会では 今後それぞれの地域や活動のヒントをいくつ得ることができたでしょうか？
- 分野は違えど、他の分科会の福祉活動からもいくつかのヒントを得ることができるかもしれません。
下呂市にはこんなにも多くの、地域に寄り添った温かい活動があります。
- 多くの活動は社協が共同で創出させていただいたり、継続的に関わりを持たせていただいています。
- 全体会ではそうした下呂市の様々な「あったか活動」に触れ、社協の支援を知り、今後参加者皆さんが主役の新たな「あったか活動」誕生のきっかけの場を目指します。

基調講演

15:55 ～ 16:25 (30分)

演題「下呂市の魅力が今ココに！

あふれだす住民主体の地域の力、共に歩む社協の姿」

- 少子高齢化・核家族化・ライフスタイルの変容により地域福祉の新たな創出のみならず維持・継続自体が非常に難しい時代となってきています。
- 一方でこんな時代だからこそ住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには「人とのつながりづくり」や「地域での支えあい」「誰かのために、地域のために実施される住民福祉活動」は更に重要性をましています。
- 地域の福祉課題に沿って新たな福祉活動が継続的に創出されている下呂市のすばらしさ。そして、こうした活動に寄り添う社協の必要性や期待される役割について、全国の地域福祉を知る佐甲教授にご講演いただきます。
- 下呂市って意外とすごいんだな。住んでてよかったな。そんな瞬間にふれてください。

[講師] 中部学院大学 人間福祉学部 人間福祉学科 佐甲 学 氏

特設コーナー

出入り自由・申込不要

1階フロア

地域を **ささえる** 活動を

PR



～市内の法人・企業の様々な取り組みが、
下呂市民の困りごと解消の「ちから添え」になっています～

❖ 法人・企業紹介 ❖

- ・ NPO 法人 みらいろ
- ・ NPO 法人 ケアパレット
- ・ NPO 法人 サン・はぎわら
- ・ シルバー人材センター
- ・ 総合生活支援サービス HelPA-YU
- ・ あなたの町の便利屋さん
- ・ 社会福祉法人 さくらの花
- ・ 社会福祉法人 飛騨慈光会 益田山ゆり園
- ・ 配食 譚照庵

社会福祉法人 下呂福祉会 介護用品支援サービス あひるバンク

❖ 皆様からのご寄付をお待ちしております ❖



以下、受付対象品（介護消耗品）

- ・ 紙オムツ（サイズ各種）
- ・ 紙パンツ（サイズ各種）
- ・ ボックスティッシュ
- ・ 尿漏れ防水シート
- ・ 尿取りパット（各種）
- ・ タオル（バスタオル・フェイスタオル）

※受付品は「新品・未開封」の物に限定させていただきます

1階ボランティアルーム

応募作品の中から選ばれた下呂市社協のマスコットキャラクター候補作に投票していただく会場を設けます！

下呂市社協 合併 20周年記念

キャラクター
イメージ



「つながり」「ふくし」「支え合い」

からイメージができる

下呂市 らしさのある

親しみやすく愛される キャラクター。

あなたの1票でキャラクターが決まるかも!? ぜひ、投票してください。